

令和6年度農村振興・環境保全優良活動 知事賞受賞団体の紹介

青木地区活動組織(入善町)

平成26年の発足当初から、地域の複数集落と広域的な連携を進め、現在は8集落で農用地面積200ha以上を管理している。地域内の農地や用排水路の保全、環境保全活動を協働で取り組むことにより、事務の効率化が図られ、また集落間の交流や支援を行う体制が整い、コミュニティの場となっている。

さらに、広報誌の発行やホームページで活動紹介、電子回覧板を利用した若者や女性の参画を促す活動にも努めている。



防草シートの施行

もとの 本野地区集落協定(黒部市)

平成13年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、農道・水路の定期的な点検や維持管理など集落全体で農地保全に努めている。

また、休耕田を活用し、ひまわりやネモフィラの植栽を近隣住民も合同で実施しており、地域間の交流を図っている。

さらに、生産性向上活動加算を活用して、斜面用の草刈り機を導入し、農用地の維持管理の負担を軽減し、省力化に取り組むなど生産性の向上に繋げている。



景観植物(ヒマワリ)の作付け

しょうず 清水集落活動組織(富山市)

牧集落活動組織、沼又集落活動組織の近隣組織と合併し、活動地域を拡大して農地の保全に努めている。

また、当該地区は傾斜地に位置するため、農地・農道法面の草刈りや補修活動の作業負担は大きく、加えて高齢化・過疎化が進行しているため、農村サポーターなど地域外の協力を得ながら良好な農地の維持管理活動を継続している。



イノシシによる法面土砂崩落
対策の水路盖板設置

青井谷地区環境保全会(射水市)

地域内の共同作業により中山間地のため池や用水路をはじめ、平地の農道等施設の機能が保てるよう組織的に管理するとともに、土砂崩れ等の被害時には、速やかに泥上げやシート養生等の応急処置を行うなど、農村環境の保全に努めている。

さらに、土地改良区や営農組合と連携し、地元小学生への伝統的な手法での田植え体験等を通じて、農村文化の伝承や農村コミュニティの強化に繋げている。



小学生の田植え体験

ろんでん

くまなし

論田集落協定・熊無集落協定(氷見市)

論田集落協定は平成12年度から、熊無集落協定は平成30年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、適正な農地の維持・管理に努めている。地域の将来像を描くワークショップをきっかけに2集落の連携が強化され、棚田地域振興活動加算を活用し、農業インターンシップを実施し、都市部の大学生を受入れ、ラジコン草刈り機を活用した草刈り体験や果樹の収穫体験、地域特産品である草餅の調理体験等を通じて、農業の担い手育成に貢献しているとともに、都市部の大学生との交流が地域の活性化にも繋がっている。



農業インターンシップでの
リモコン草刈機操縦体験